

2012年3月期 第2四半期業績概要

2011年 10月28日

アンリツ株式会社
代表取締役社長 橋本 裕一



東証第1部:6754
<http://www.anritsu.com>



注 記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目次

1. 事業概要
 2. 2012年3月期第2四半期 連結決算概要
 3. 2012年3月期 通期見通し
-





1. 事業概要 - 事業セグメントの呼称と事業内容 -

セグメント	サブセグメント	事業内容
計測	モバイル市場	LTE、3Gなどの携帯端末、チップセットの開発・製造・保守用テストなど
	ネットワーク・インフラ市場	光・デジタル・IP通信機器の開発・製造用テスト、有線および無線ネットワークの敷設・保守用テスト、サービスアシュアランスなど
	エレクトロニクス市場	無線設備、電子部品等の開発・製造用テスト、汎用テストなど
産業機械		食品・薬品・化粧品用重量選別機、異物検出機、電気機器プリント板向け精密計測など
情報通信		映像配信機器、通信機器、IPスイッチとその応用システムなど
その他		光デバイス、物流、厚生サービス、不動産賃貸など

2011年3月期 売上比率	計測 69%	産業機械 16%	情報 5%	その他 10%
モバイル 約30%	ネットワーク・インフラ 約40%	エレクトロニクス 約30%		

2. 連結決算概要 - ポイント -

第1四半期の状況を継続

セグメント	2012年3月期 第2四半期の状況	実績
計測	<ul style="list-style-type: none">・スマートフォン製造用計測器のビジネス拡大・LTE開発用計測器の需要増大・無線インフラ向け建設・保守用計測器が堅調	
産業機械	日本、海外ともに堅調に推移	
情報通信	顧客の投資、当社ビジネスともに前年並み	
その他	前期堅調に推移した映像配信市場向け光デバイスの需要は一巡	

2. 連結決算概要 – 第2四半期業績サマリー –

大幅な増収増益

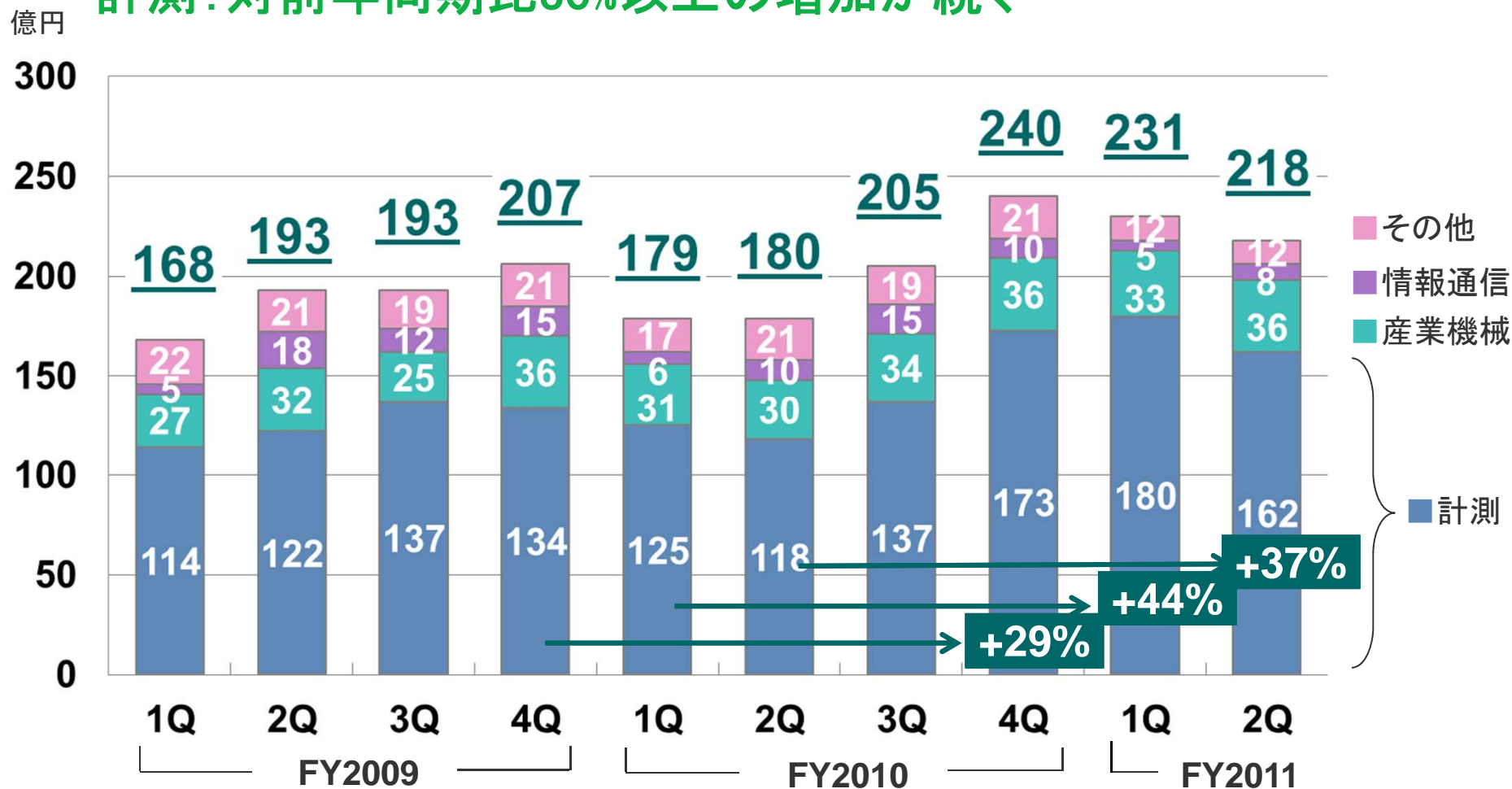
(単位: 億円)

	前第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	当第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
受注高	359	449	90	25%
売上高	366	446	80	22%
営業利益	28	64	36	127%
経常利益	18	54	36	208%
税引前当期純利益	17	54	37	220%
当期純利益	10	38	28	292%
フリーキャッシュフロー	70	63	△7	△11%

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

2. 連結決算概要 - 受注高推移 -

計測：対前年同期比30%以上の増加が続く



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

2. 連結決算概要 - 事業別売上高・営業利益 -

計測事業がけん引

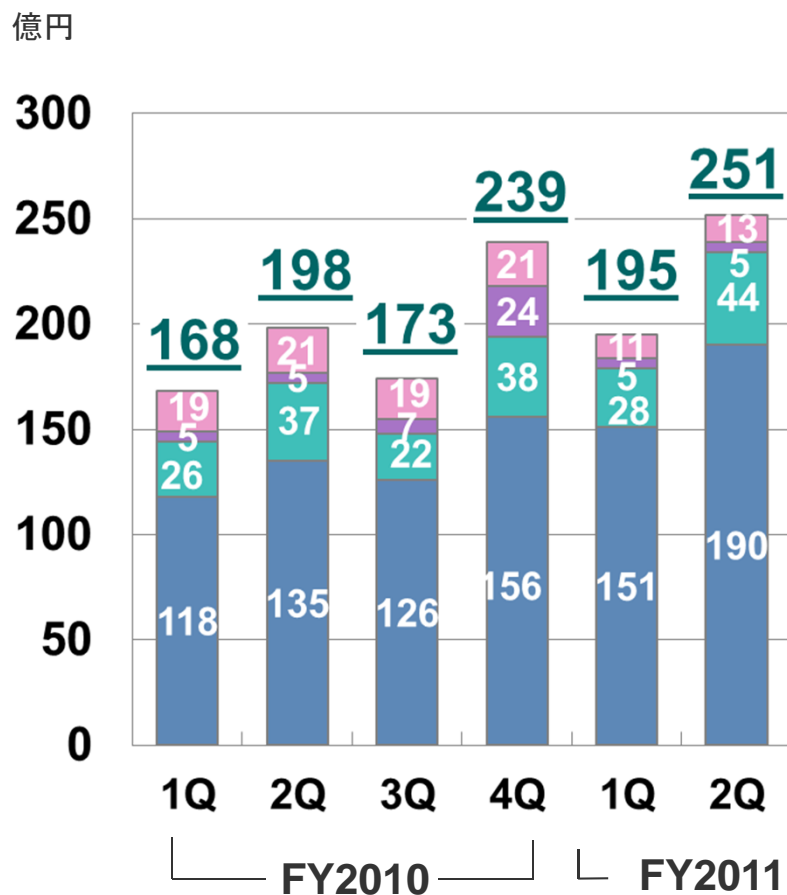
(単位:億円)

		前第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	当第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
計測	売上高	253	340	87	35%
	営業利益	22	64	42	192%
産業機械	売上高	63	72	9	14%
	営業利益	4	3	△1	△22%
情報通信	売上高	10	10	0	△4%
	営業利益	△6	△5	1	-
その他 (含:内部消去)	売上高	40	24	△16	△39%
	営業利益	8	2	△6	△80%
合計	売上高	366	446	80	22%
	営業利益	28	64	36	127%

(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

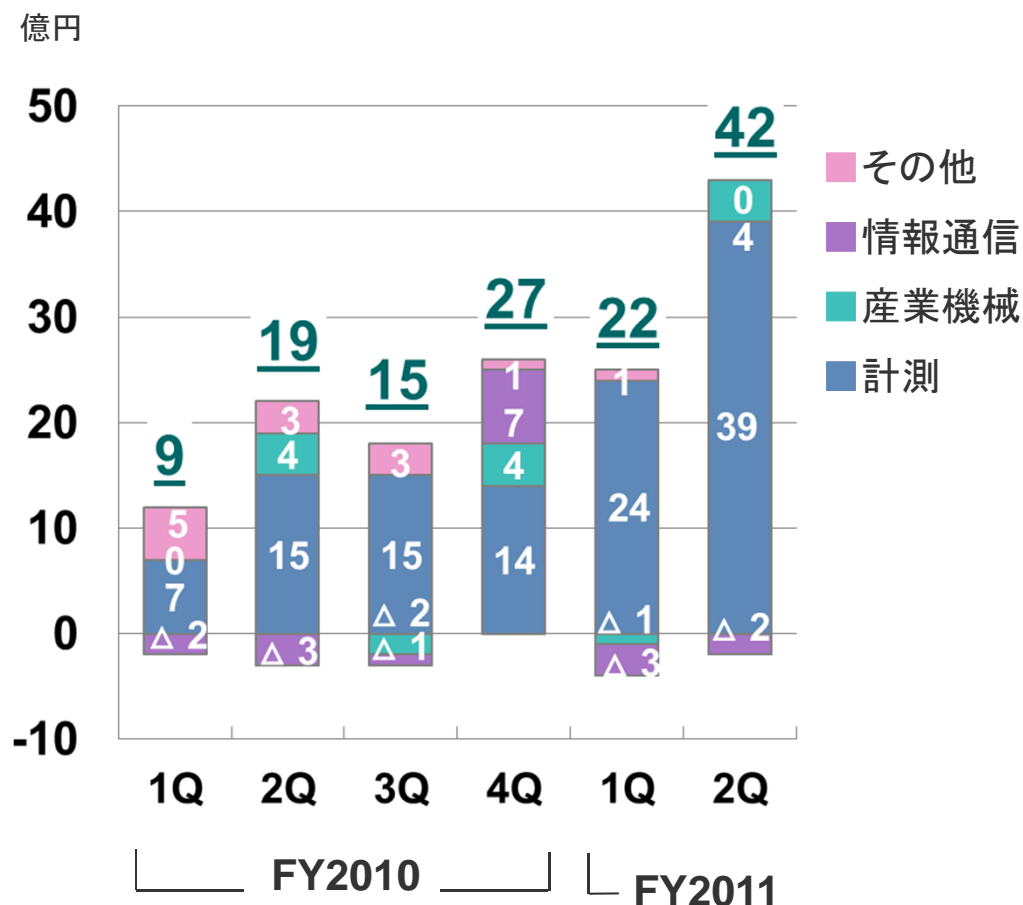
2. 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業損益 -

Q2の連結営業利益率:17%を達成



連結売上高

(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

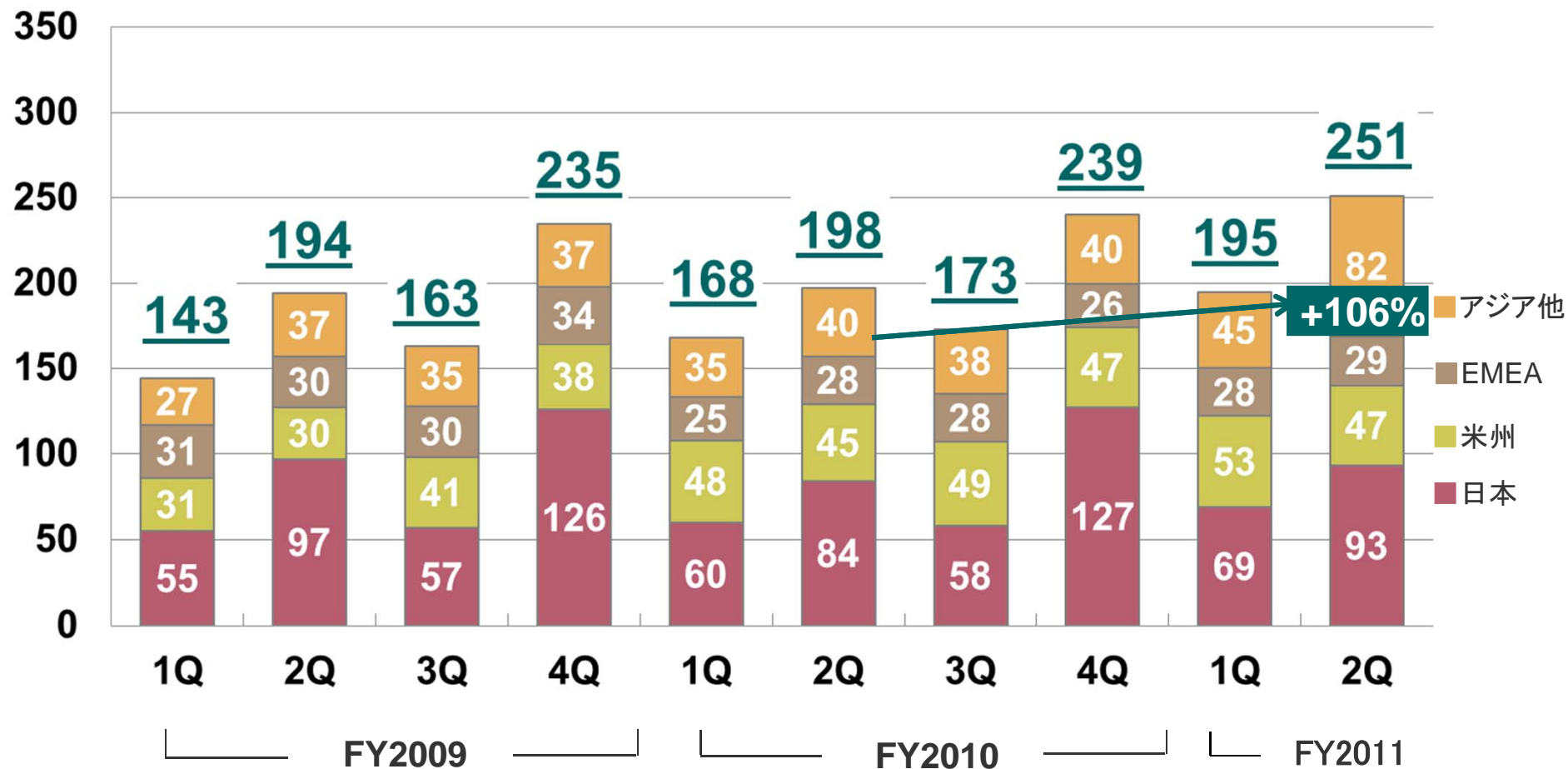


連結営業利益

2. 連結決算概要 - 地域別売上高推移 -

アジア他: 前年同期の約2倍

億円



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

2. 連結決算概要 - 営業外・特別損益 -

(単位:百万円)

		前第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	当第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	当第2四半期 連結会計期間 (7-9月)実績
営業利益		2,819	6,393	4,159
	金融収支	△ 298	△ 206	△ 107
	為替差損益	△ 667	△ 708	△ 543
	その他	△ 98	△ 60	△ 70
営業外損益計		△ 1,062	△ 974	△ 720
経常利益		1,757	5,419	3,439
	投資有価証券売却益	-	10	10
	投資有価証券売却損	-	△ 20	△ 20
	投資有価証券評価損	△ 1	-	20
	資産除去債務会計基準の 適用に伴う影響額	△ 68	-	-
特別損益計		△ 69	△ 10	10
税引前利益		1,688	5,409	3,449

(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

2. 連結決算概要 - キャッシュフロー -

着実にキャッシュフローを創出

内訳

単位:億円 △減少

第2四半期

①営業CF: 70億円

②投資CF: △8億円

③財務CF: △11億円

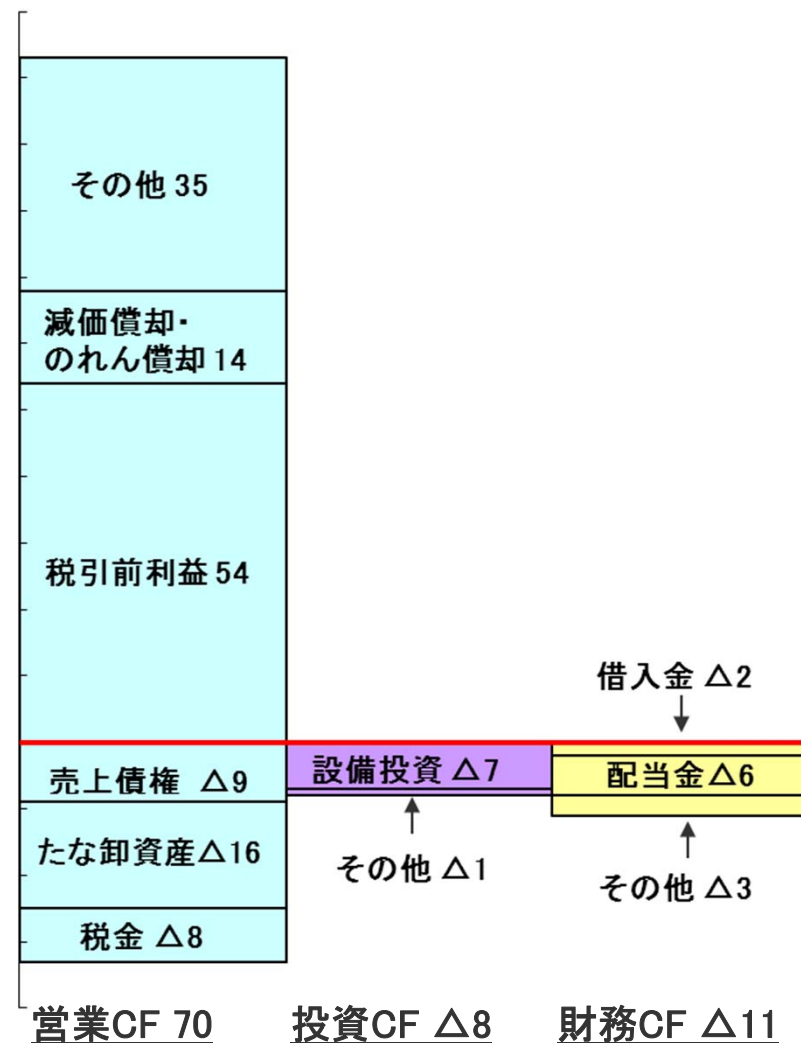
フリーキャッシュフロー

(①+②): 63億円

現金同等物期末残高

326億円

(注)値はそれぞれの欄で四捨五入



3. 2012年3月期 通期の見通し(連結) 計測のみ通期上方修正

(単位：億円)

		FY2011			FY2010	
		H1実績	通期 前回予想	通期 今回予想	H1実績	通期実績
売上高		446	865	875	366	779
営業利益		64	110	117	28	70
経常利益		54	100	100	18	54
当期純利益		38	70	70	10	31
計測	売上高	340	630	640	253	535
	営業利益	64	98	105	22	51
産業機械	売上高	72	140	140	63	123
	営業利益	3	7	7	4	7
情報通信	売上高	10	40	40	10	41
	営業利益	△ 5	0	0	△ 6	1
その他	売上高	24	55	55	40	79
	営業利益	2	5	5	8	12

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

2012/3月期から産業機械事業に、その他セグメントの精密計測事業を統合しています。

(参考) 想定為替レート：1米ドル=80円

1ユーロ=110円

Anritsu

Discover What's Possible™